

**平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る  
調査（令和2年度調査）の事前確認シートについて**

## 事前確認シート

事業番号	( 1 )
調査名	介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業
調査の趣旨	
<p>・持続可能な介護保険制度の実現に向け、より効果的・効率的な介護保険サービスの提供について検討を進める必要がある。そのため、介護サービスの質の評価を行うことが求められている。厚生労働省では、科学的に自立支援等の効果が裏付けられた介護を実現するため、分析に必要なデータを新たに収集するデータベース（CHASE）を2019年度に構築し、2020年度からの運用を開始する。</p> <p>・本事業では、CHASE等により収集されたデータを分析し、事業所・施設に対してフィードバックを実施し、その効果が介護サービスの質の向上に資するかを検証する。</p> <p>加えて、既存の加算について、算定要件を精査し、加算の効果として利用者の状態の維持・改善等を、客観的なアウトカム指標により評価が可能であるか等を網羅的に検証する。</p>	
当該調査の目的	
<p>【CHASEについて】</p> <p>・CHASE等により収集されたデータを分析し、適切なフィードバック票を作成して事業所・施設にフィードバックを実施した上で、介護サービスの内容にどのような影響・効果があったかを調査する。</p> <p>【既存の加算について】</p> <p>・介護関連DB（介護保険総合データベース、VISIT、CHASE）に収集されているデータを活用し栄養管理、口腔機能維持、排泄支援等の既存の加算がアウトカムに基づく加算に移行すること可能であるかについて検証を行う。</p>	
調査内容	
<p>【CHASEについて】</p> <p>・介護関連DB（介護保険総合データベース、VISIT、CHASE）に収集されているデータを分析するとともに主にCHASEを介して収集したデータについて介護の質の向上に資することを目的としたフィードバックを試行的に実施する。なお、このフィードバックは令和2年7月末までに収集したデータを用いて行うことを想定している。</p> <p>・更に、訪問調査やアンケート調査等により、調査対象事業所・施設におけるデータ提供過程における課題や改善点の検証や、フィードバックが介護の内容に及ぼした影響等を、アンケート調査等で検証する。</p> <p>【既存の加算について】</p> <p>・介護関連DBに収集されているデータの解析等を通じて検証する。</p>	
集計・分析の視点	
<p>・介護の質の向上に資するCHASEを介したフィードバックに関する検討</p> <p>(a) 諸外国で使用されているQI（クオリティインディケーター）指標等を参考にしつつ、介護現場で有用性が期待されるフィードバック票を作成し、試行的にフィードバックを実施する。</p> <p>(b) 介護事業所・施設に対してフィードバックを行った影響について、具体的にどのような効果があったのかを調査・検証するとともに、フィードバックの改善に資する調査・分析・検討を行う。</p> <p>・既存の介護保険制度における加算についての検討</p> <p>(a) 既存の各種加算について現状調査を実施しどのような種類の利用者に対しどのような効果を期待するもので実際にどのような効果が認められているか等を介護関連DBのデータを用いて検証する。</p> <p>(b) 加算の効果を客観的に評価可能で、科学的に信頼性・妥当性が担保されたアウトカム指標の選定について、CHASEの収集項目を踏まえて検証する。</p> <p>(c) アウトカム評価に必要なデータを、CHASE等を用いて介護事業所・施設から収集することについて、フィジビリティ等の検証を行う。</p> <p>(d) アウトカム指標の導入により、指標を一つの基準とした介入対象の適切な設定や、介入の効果により介護サービスの質の向上に寄与するか等の検証を、介護関連DBの情報を交えて検証する。</p>	